

【単年度事業評価様式】

保土ヶ谷区地域子育て支援拠点事業
令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	NPO法人ピアわらべ 保土ヶ谷区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保土ヶ谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ①妊娠期からの切れ目のない支援を行い、育児不安の軽減に努めます。 ②地域の中で子育てを温かく見守るネットワークづくりを推進します。 ③地域子育て支援拠点サイトを活用し、養育者、支援者の利便性を高めることを目指します。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から安心して子育て出来るよう、体験講座や小児科講座などプログラムの内容を充実させます。 ・2.3歳児が身体を使って遊べる「Kinder Day」を開催します。 ・夫婦のコミュニケーションの大切さや子育てを楽しむヒントを伝えていきます。(保土ヶ谷区子育てアンケート結果報告の活用) ② <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを通して保育園、幼稚園とつながり、子育て支援連絡会への参加を促します。 ・地域の方に子育て世帯の現状を伝え、地域全体で子育てを応援する町を目指します。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・養育者や支援者が地域子育て支援拠点サイトを活用できるようにサポートしていきます。

取組の成果	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレパパ・プレママ DAY」を23回開催。沐浴・おもちゃ作りの体験講座や小児科講座を開催し、「育児の心構えが出来て安心した。生まれてからも利用したい」など産前の不安軽減になったとの声が聞かれました。また、妊娠期の利用は昨年度より173名増加し、ひろば利用のきっかけづくりができました。母子手帳交付時のチラシの配布やイオン等商業施設での周知が効果的でしたので継続していきます。 ・2.3歳児向けに「Kinder DAY」を月1回開催。平日は通園している子どもが多いことなどから参加者が増えず、開催日を土曜日に変更したり、Instagram等SNSを活用したところ、2歳以上の利用も増加しています。 ・令和4年度保土ヶ谷区子育てアンケート結果報告「子育てを楽しむヒント」(夫婦のコミュニケーションが大切・子どもの成長を楽しむ等)をひろば内に掲示し、日々のひろば相談等に活用しました。また父親向けプログラム「おとわらの日」では子育てについて夫婦で話し合い、考え方の違いを知ることの大切さを共有しました。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園、35園と連携し園庭・公園遊びを26回開催。約570名の親子の参加がありました。実施後の参加者アンケートでは「園の先生に遊びを教えてもらい子どもが楽しそうだった。相談も出来てよかった」という声が多く、協力した保育園・幼稚園からは「地域と保育園が交流できる場を作ってくれてありがたい」という感想がありました。また保育園・幼稚園以外に、子育てサロンや親子サークルなどの参加もあり、協力団体が増加しています。 ・区地域福祉保健計画推進会議や子育てサポートシステム交流会等で子育て世帯や担い手不足の現状を伝え、子育ての課題を考える機会を持つことが出来ました。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域子育て拠点応援サイト」導入に向けて、利用登録しやすいようにマニュアルを作成し、チラシや通信、ホームページに掲載しました。利用者からは「登録は手間がかかったが、一度登録すると18区すべての拠点が使え、子育てに関する手続きや情報収集も出来て便利」という声がありました。
取組の課題	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレパパ・プレママ講座の申込みが早期に定員に達してしまう状況があります。妊娠期の不安の軽減や産後の生活をイメージする機会を拡充するために、親と子のつどいの広場など、地域の施設に妊娠期の方の現状を伝え、開催の協力を仰ぐなど検討が必要です。 ・主な利用者が0.1歳児のため、2.3歳児の利用者のさらなる確保に向けて、引き続き「Kinder DAY」等の取組を継続していきます。 ・保土ヶ谷区子育てアンケート結果報告をどのように地域に還元していくか検討していく必要があります。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、サテライトの休館等で人員に余裕があり外遊びの依頼に全て対応することが出来ましたが、次年度からは人員的に難しい状況です。保育園、幼稚園に加え、子育てサロンや親子サークルなど、地域の関係機関が複数連携した取り組みを検討していきます。 ・外遊びを通して保育園や幼稚園と連携、顔の見える関係性が構築出来ていますが、引き続き、子育て支援連絡会の参加を促すとともに、事務局として開催方法や内容について検討していく必要があります。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点サイトが使いにくく、利用者個人では登録作業などが難しい状況があります。引き続き、登録の支援など工夫していきます。

次年度重点目標

令和7年度 重点目標	子どもを取り巻く大人、地域や企業などと連携し、子どものウェルビーイングを育む。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(企業も含む)の方も交えて、妊娠期の方、子ども、父親、母親、祖父母など家族で楽しむ機会をつくり、子どもの豊かな遊びと体験の機会の充実を図ります。 ・子育て支援連絡会の方向性を再確認するとともに、子育てサポートシステムの現状や「地域での預け預かり合いの大切さ」をエリア別子育て支援連絡会など地域の会議で伝え、預かり手を増やしていきます。 ・地域に住む学生や若い世代の人に、職業体験やボランティアなど子どもと関わる機会をつくっていきます。